

# ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～

## はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊しております。この第9号では、昨年催された第10回総会、ならびにそれに先立つ特別講演の模様をお伝えいたします。今回も、昨年に引き続き、卒業生有志による施設紹介を取り入れ、開催しました。

## 第10回山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会「ちとせ会」総会 (平成26年10月18日開催)

### 1. 特別講演 清重 佳郎 先生「手の外科について」

清重先生に、「橈骨遠位端骨折」の術式、リハビリについて、「手根管症候群」の症状、リハについて、ご講演していただきました。現在は時代と共に、術式も変化し、組織修復を目指すことで、回復する治療を実施する傾向になってきていること。また、リハビリは、早期から実施することが必要である、とのお話でした。早期訓練を実施することで、健側の80%まで回復するとの報告もある、等のお話を聞き、OTとしての役割を改めて考える機会となりました。

### 2. 卒業生有志により施設紹介

今回は四大1期生の岡本真智子さんに、現在働いている医療法人KNIについて、「救急から社会復帰まで」というテーマで施設紹介を発表していただきました。多方面での事業を行っている施設の紹介やその中でのOTの役割、他職種との連携を行いながら、社会復帰のためのお手伝いを行っていることを中心に発表していただきました。今後、更にインフォーマルサービスの創造を行っていくという前向きなお話をお聞きすることが出来、大変勉強になりました。

### 3. 総会

#### 総会での審議結果

- 2014年度会計報告、ならびに2015年度予算案が承認された。
- 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。

#### 4. 懇親会

例年同様、会食をしながら学生時代の思い出話をし、より交流が深まりました。

##### 参加者感想

第10回同窓会に参加した同窓生に書いていただいた感想文の一部を紹介します。

- ・清重先生の「手の外科」の講演では、橈骨遠位端骨折の術式の歴史からリハビリの方法まで詳しく勉強することが出来ました。
- ・大学の講義のようにフレッシュな情報が得られて良かったです。
- ・今年は4大1期生の出席が多く、嬉しくなりました。清重先生の「手の外科」の講演では、新しい術式を発明し、発展させていく外科医の素晴らしさ、リハや作業療法と具体的に協業する姿に感動しました。



皆様の、参加をお待ちしています!!

多くの同窓生に集まって頂き、大変盛り上がりました!!



##### 編集後記

昨年も、清重先生の特別講演に加え、卒業生有志による症例報告などがあり、臨床に役立つ内容を沢山聞くことが出来ました。次回同窓会も、出来るだけ多くの方に参加していただきたいと思います。また、同窓会の企画内容など何か希望があれば、ぜひ同窓会役員に声をかけていただければと思います。